

薬害教育教材に関するアンケート調査(平成 30 年度)の結果について

1 目的

中学3年生を対象とした薬害教育教材「薬害を学ぼう」について、教材のより有効な活用方法等の検討につなげるため、教育現場での使用状況、問題点等を把握する。

2 調査対象

全国の中学校(11,273 か所)

3 調査内容

- (1) 使用状況(教科、取り上げた単元)
- (2) 教材の発送時期(適否、その理由)
- (3) 指導の手引きについて
- (4) 視聴覚教材について
- (5) 教材等への感想・意見、教材の活用方法・工夫等

4 調査方法

以下の手順により、事務局において調査を実施。

- ① 平成 30 年度分の教材の発送時(平成 30 年 6 月 28 日から発送)にアンケート用紙を同梱し、中学校において必要事項を記載するよう依頼。
- ② 中学校から事務局あてに返送。(返送期限:平成 30 年 9 月 28 日)

5 調査結果の概要

- (1) 回収率 10.0%(1,138 か所)

※ 平成 26 年度:11.4%(1,269 か所)

平成 27 年度:15.3%(1,703 か所)

平成 28 年度: 8.1%(897 か所)

平成 29 年度:11.5%(1,268 か所)

- (2) 結果の概要 別紙のとおり。

調査結果の概要

1 調査結果一覧

	質問内容	主な結果	合計
問 1	使用状況(予定含む) 【注1】下線部は平成 30 年度 矢印の右側は平成 29 年度(以下同じ) 【注2】このほか、未記載 4 件、その他 5 件がある	①授業で使用(予定): <u>465(40.9%)</u> ← 528(41.6%) ②配布(予定): <u>585(51.4%)</u> ← 656(51.7%) ③使用・配布の予定はない: <u>77(6.8%)</u> ← 75(5.9%)	1,138
	(1)教科	①社会科: <u>288(55.5%)</u> ← 333(59.3%) ②保健体育科: <u>176(33.9%)</u> ← 193(34.3%) ③総合的な学習の時間: <u>36(6.9%)</u> ← 25(4.4%) ④その他: <u>34(6.6%)</u> ← 24(4.3%)	519 【複数回答】
	(1)-2 取り上げた単元 (自由記述)	「人権」 <u>246</u> ← 247 「消費者の保護」 <u>75</u> ← 84 「公害」 <u>67</u> ← 78 「医薬品の適正使用」 <u>128</u> ← 127 「エイズ・感染症の予防」 <u>74</u> ← 72 「薬物乱用」 <u>113</u> ← 119 その他 <u>16</u> 件 (主な内訳)学級活動 <u>5</u> 、道徳 <u>4</u>	521 【複数回答】
問 2	教材の発送時期 ※平成 28 年度は 4 月発送だったが平成 29 年度は 6 月頃発送とした。	①ちょうどよい: <u>887(77.9%)</u> ← 1027(81.0%) ②早すぎる: <u>135(11.9%)</u> ← 117(9.2%) ③遅すぎる: <u>56(4.9%)</u> ← 75(5.9%) ④未記載等: <u>61(5.4%)</u> ← 49(3.8%)	1,138
	早すぎる又は遅すぎると回答した場合の理由と時期の内容 (自由記述)	(主な意見) 【早すぎる】 ・ 公民、消費者についての学習が秋のため。 ・ 社会科公民分野の開始が 7 月であるため、8～9 月頃が良いと思う。 ・ 保健の授業は、後学期に実施する予定のため。1 1 月頃 ・ 1 学期は、修学旅行、体育祭など行事が多く、総合的な学習の時間での取り組みが難しいため。 【遅すぎる】 ・ 人権は 3 年の 6 月上旬～中旬で扱うことが多いので、6 月一杯には教材として欲しい。 ・ 4～5 月の早い段階の方がよい、夏季休業中に人権作文を書かせるので、参考資料にさせたい。	185

	質問内容	主な結果	合計
問 3	指導の手引きについて	①内容が適切: <u>748(65.7%)</u> ← 848(66.9%) ②内容が難解: <u>74(6.5%)</u> ← 90(7.1%) ③内容がやさしすぎる: <u>1(0.1)</u> ← 0(-) ④使っていない: <u>266(23.4%)</u> ← 262(20.7%) ⑤その他: <u>21(1.8%)</u> ← 31(2.4%) ⑥未記載等: <u>30(2.6%)</u> ← 37(2.9%)	1,138
	「②内容が難解」、「③内容がやさしすぎる」、「④使っていない」又は「⑤その他」の場合の改善点等の内容 (自由記述)	(主な意見) 【内容が難解】 <ul style="list-style-type: none"> 使われている用語に解説があり、とても参考になった。図や表がもう少しある方が視覚的に理解しやすくなると感じた。 用語解説があるのはとても良いのですが、もう少し簡単だと更に分かりやすいと思います。 中学3年生向けにしては、内容が専門的で難しいと思う、一般的な中学生が理解しやすいものにする必要があると思う。 生徒が置かれた状況(住んでいる地域や時代背景等)によって、身近にとらえられないことがあり、生徒の興味関心がないと難しく感じるかもしれない。 【使っていない】 <ul style="list-style-type: none"> 参考資料としては活用できるものの、1コマの授業として取り扱う時間を確保しづらい。 消費者の保護に関する内容は、薬害以外に扱う内容が多くあるので、手引きのような時間がない。 薬害について、じっくり取り扱う授業時間の余裕がない為、短時間の取り扱いを想定した内容を入れて欲しい。 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> 薬害そのものを知らない世代なので、もう少し詳しい説明が1つあるといいと思います もう少しシンプルにしてほしい(短い時間で指導できるように) 他教科であつかう時間がないので保体でやるが、生徒の興味がうすい。 	201

	質問内容	主な結果	合計
問 4	視聴覚教材について	①授業等で使用(予定): <u>220(19.3%)</u> ←193(15.2%) ②使用の予定はない: <u>880(77.3%)</u> ←885(69.8%) ③未記載等: <u>38(3.3%)</u> ←190(15.0%)	1,138
	「①授業等で使用(予定)」の場合の使用用途、使用した感想、改善点等の内容	(主な意見) ・ 学級でテレビに写して見せました。通常の授業よりも関心が高まっているように感じました。 ・ 生の声を聞くことにより薬の害の恐さや、正しい使用方法についての理解が深められた。 ・ 薬害の存在そのものについて知らせる授業で使用了。薬は自分たちにとってとても大切で、正しく使用することについて学習した後に、薬にかかわる別の面として紹介した。生徒達は真剣に視聴し「こわい」との感想が多く聞かれた。中には「こんなことがないように、何とかしなくては」との意見もだされ、よい教材だった。 ・ 以前使用した際、生徒らは「被害者の声」を真剣に聴いていた。薬害とはどのようなものかを考えるうえで、大切な教材だと思った。 ・ DVDに加えて資料パンフレットも詳しく書かれているので、生徒一人一人の学習理解が深められてよい。被害者のお話が心にしみました。	173
問 5	授業での活用方法、工夫した点等(自由記述)	※ 下記2を参照	278

2 教材や活用の手引についての感想・意見、授業での活用方法・工夫、活用に当たっての問題点(主な記述)

➤ 授業の中で活用(副教材、参考資料等として)

(1) 社会科で活用

- ① 指導の手引きに授業の流れ(例)と用語解説があり、活用させていただきました。授業に当たっては「生徒自身が薬害が起こらない社会の仕組みを考えるために、どうしたらよいか」について考えて深めさせたいと思い授業を行いました。
- ② 社会科(公民)で利用する際には、消費者問題の一例として取り上げている。テキストや DVD の必要な部分を使いやすいよう、加工しやすいデータの形で提供していただけると、より一層使用しやすいのではないかと思います。
- ③ 「薬害の被害者の人権」という視点、企業の社会的責任という両方の観点を入れたテキストの作成をお願いしたいです。

- ④ 権利(自由権、社会権、新しい人権)でいつも活用させてもらっています。
- ⑤ 「被害者の声」が人権の単元の課題解決学習の資料としてつかわせていただきました。生徒の関心を高めることができました。

(2)保健体育で活用

- ① 指導をするうえで、わかりやすい手引きやデータ資料が整っていたすかった。
- ② なぜ薬物は日本でくり返されるのかという視点と、患者さんたちのその後の生活などの記述がほしい。でも、今後も是非送っていただきたいです。
- ③ 「薬害の歴史と国としての取り組み」については良く学べる内容であったが、子どもたちが今後どうしていくべきか？どう対応すべきか？といった点について、もう少し入っていれば…と思いました。

➤ 時間がない

- ① 内容は大変興味深いですし、授業もしてみたいですが、日程的によゆうがありません。来年度以降、つかってみたいです。
- ② 社会科で活用するようにしたら、3年公民の12月から1月の単元(公害問題)になる。立派な資料ではあるが、授業の進度、入試対策などで、活用する時間的余裕はない。
- ③ 教科書に即した授業を展開しており、お送りいただいたテキストをベースとすると授業時間の確保等の問題が生ずると考えており、現段階では参考資料として配布するとどまるのでは、と考えます。
- ④ 実践事例集など今後の授業の活用できる内容であり、勉強になりました。

➤ 内容が難しい等

- ① 1単位時間の学習内容としては、テーマが重すぎるし、内容も多いと思う。簡単には扱えないと思う。
- ② 内容は見やすく分かりやすいと思うが、教科の中で関連づけて、扱うことが難しく、あまり活用できていない。
- ③ 授業数の関係で扱う時間の確保がむずかしいです。内容等のことから、義務教育ではなく、高校レベルで扱うことはできないでしょうか？

➤ 資料の構成等について

- ① 身近に薬害の被害者がいなければ、なかなか自然に関心を持つことのない問題だとは思いますが、こうした資料をきっかけに、生徒が知るのには良い事だと思う、正しい情報を選択しようとする力も培うことができる。
- ② 写真やイラストが効果的に使われ、被害者の声も掲載されていて分かりやすい。薬害とともに薬物依存やその危険性もあわせて、指導できると、さらに指導しやすいと思う。
- ③ とてもよい、使いやすい。例)パンフレットの文面と、DVD内の人物の言葉が同一であり、生徒にとって分かりやすい、又、当事者の思いが伝わった。
- ④ 薬害の定義について、きちんと定義づけをしてほしいと思った。生徒に伝える際にどのように伝えたらよいが難しい。
- ⑤ 授業実践事例集や指導の手引きなど、すぐに授業で使える補助資料もあり、使い易いと思いました。(ただし、本校の生徒の実態には合わず、配布のみ致しました。)
- ⑥ ワークシートを同封していただけたら使いやすいです、また、指導に時間配分の記載があれば、より活用しやすいです。

⑦ 今回は自作のワークシートを活用したが、社会、保健体育のそれぞれの視点から学べるワークシートが何種類かテキストについているとよいと思った。

➤ その他

- ① 配布だけでも生徒には効果的だった。薬害による人権侵害に興味をもった生徒がいた。しかし、生徒間の学力差を考えると、授業実施は困難。
- ② DVDを観てから、生徒に話し合う機会を設けようと思うと、50分の授業時間では終わらなかった。抜粋してDVDを観る、テキストを読む、話し合うなど活動時間配分の工夫が必要と感じている。
- ③ 「被害者の声」を読むと薬害問題が深刻なものであり、身近な問題であることがわかる。本校では、本年度薬害教育の実施は計画に入れなかったが、今後、社会科、保健体育科等の授業で取り上げていきたい。
- ④ 教科書の「医薬品の有効利用」に、資料として載せていつでも見れるようにしてはどうでしょうか。大人も知らないことがたくさんありました。

返信先FAX番号：03-3501-2052

別添

あて先：厚生労働省医薬・生活衛生局総務課医薬品副作用被害対策室 行き

各中学校 ご担当者 様

《 薬害教育テキスト「薬害を学ぼう」に関するアンケート 》

「薬害を学ぼう」に関し、以下の質問にお答えください。(該当する番号に○をつけ、空欄には自由にご記入ください。)
今後の教材作成に役立てるため、9月27日(金)までにFAXでご回答いただきますようご協力をお願いします。

1 使用状況・予定

① 授業等で使用した(又は使用予定) ② 授業以外で、配布のみ行った(又は配布予定) ③ 使用・配布の予定はない

1-1 「①授業等で使用した」場合は、どの教科等で使用したかご記入下さい。

(※ ②保健体育科で使用する場合は、**薬害問題は、薬物乱用防止とは全く異なる問題であることにご留意下さい。**)

① 社会科 ② 保健体育科 ③ 総合的な学習の時間 ④ その他()

上記で記入した教科等の中において、どのような内容に関連して使用したかご記入ください。

①消費者の保護 ②人権 ③公害 ④医薬品の適正使用 ⑤エイズ・感染症の予防
⑥薬物乱用 ⑦その他()

2 教材の発送時期について

①ちょうどよい ②早すぎる ③遅すぎる

上記において、「**②早すぎる**」又は「**③遅すぎる**」場合は、その理由をご記入ください。
併せて、発送の時期として適切と考えられる時期をご記入下さい。

3 指導の手引きについて

① 内容が適切 ② 内容が難解 ③ 内容が易しすぎる ④ 使っていない ⑤ その他

上記で**②内容が難解**、**③内容が易しすぎる**、**④使っていない**、**⑤その他**を選択された場合、改善点等をご記入ください。

4 視聴覚教材について

① 授業等で使用した(又は使用予定) ② 使用の予定はない

上記で**①授業等で使用した(又は使用予定)**を選択された場合、使用方法、使用した感想、改善点等をご記入ください。

5 その他このテキストや同封した指導の手引きについて、ご感想・ご意見がありましたら、ご記入ください。(授業での活用方法や活用において工夫した点、また活用に当たって問題となった点などご自由にご記入ください。)

_____都道府県 _____立 _____中学校

ご担当者名 _____ 電話番号 _____

ご協力よろしく申し上げます。 お問い合わせ先：医薬品副作用被害対策室 (TEL 03-3595-2400)